

中部地区 公民館だより

第149号

令和5年6月30日発行
上山市中部地区公民館
上山市十日町4番11号
TEL 673-2588
FAX 673-0379

青空の下でプレー まずは楽しむべ

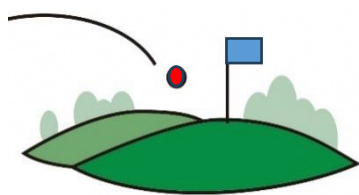
中部地区公民館主催の第11回グラウンド・ゴルフ大会が開催されました。市グラウンド・ゴルフ協会会長の大澤久雄さんに注意事項やルールの説明をしていただき、その中で、「グラウンド・ゴルフは練習すれば技能は向上するけれど、一番大切なのは楽しんでプレーすること。ルールも難しくないし、子どもから高齢者まで気軽に楽しめるスポーツ。心と体が健康で過ごせるようにぜひ皆さんに続けてほしい」とありました。その言葉を頭に置き、中部地区グラウンド・ゴルフ愛好会の方と地区の参加者が楽しく交流を図りながら、8ホールを3回まわりました。暑すぎず、さわやかな風が吹く絶好のコンディションの中、あちこちで歓声と笑い声が響きました。

日にち 6月19日(月)
場所 生涯学習センター グラウンド

ケガのないように優勝
目指してがんばります



狙い通り決めます！



いいぞ
ナイスショットだ



グラウンド・ゴルフは初心者の方でも上位入賞が狙える競技ということで、全員が優勝目指してプレーしました。「お先に」の後で、ホールポストを行ったり来たりと思いつきにならない場面もありましたが、「しっかり狙って」「集中すると大丈夫」と温かい応援の声が聞かれ、みごとに「トマリ」しました。とても賑やかな大会になりました。

成績発表

優勝 原田正男さん
(東町地区)
第2位 吉田眞智子さん
(御井戸丁地区)
第3位 吉田考一さん
(御井戸丁地区)
おめでとうございます



公民館大掃除



5月27日(土)、公民館利用団体の方に協力をいただき公民館大掃除を行いました。

利用者さんには普段から使用後の片付け、清掃をお願いしているのですが、日頃行き届かない廊下やギャラリーなどの共用部を中心に清掃をお願いしました。

朝の貴重な時間を公民館清掃にご協力いただき本当にありがとうございました。

防災講座

6月7日(水)、多目的ホールにて各地区会長を対象に防災講座を行いました。

今年の講座は「風水害に関する対応」「新型コロナの5類変更に伴う留意点等」という講座でした。

地域で起こる災害を知り、自分のとるべき行動をイメージし、その際必要となる物を備えることが必要だという事を学びました。



佐々木さん



危機管理室

佐藤さん

スマホ教室、街歩きウォーキング サポーター会視察

5月27日(土)、スマホ教室と街歩きウォーキング、サポーター会視察の3つの合同事業で西山散策に行ってきました。

例年、ハッチョウトンボと時期が合わず観る事ができませんでしたが、今年は観る事ができました。

ヒメサユリも咲いていて、とても楽しい西山散策でした。



西山ふるさと公園にて



ハッチョウトンボ



ヒメサユリ

上山城周辺清掃

6月15日(木)、中部地区管内の地区会長会で上山城周辺の清掃を行いました。

上山市の観光名所、上山城を訪れる皆さんを、きれいな状態でお迎えしようと毎年6月に実施しています。約1時間の清掃活動でしたが、用意したゴミ袋は刈り取った草でいっぱいになりました。清掃の後はすっきりとした道沿いとなりました。

地区会長会の皆さん、お疲れ様でした。



参加者募集

参加申込はすべて7月3日(月)、午前9時から受付します。

事業所見学

山形市市民防災センターとモスガーデン

山形市市民防災センターでは防災に関する体験をします
モスガーデンではテラリウムをつくります

日 時 7月12日(水)
午前9時20分集合
午後2時30分公民館到着予定
集合場所 中部地区公民館
対 象 中部地区在住の方
募集人数 20人(定員になり次第締切ります)
申込締切 7月6日(木)
参加料 1,000円
持ち物 必要な方は飲み物
その他 サンドルやかかとの高い靴はご遠慮ください



健康講座

花粉症、アレルギーについて

日 時 7月20日(木)
午後1時30分から午後3時30分
場 所 中部地区公民館 多目的ホール
講 師 山形大学医学部 耳鼻咽喉科
鈴木 祐輔医師
対 象 中部地区在住の方
募集人数 20人(定員になり次第締切ります)
申込締切 7月14日(金)
参加料 無料
持ち物 必要な方は飲み物



7月の予定

1日(土) 街歩きウォーキング②
(ホテル観賞会)
7日(金) モルック講習会
12日(水) 事業所見学
(職員は留守になります)
19日(水) はこべの会サロン
20日(木) 健康講座

7月 はこべの会 サロン

日 時 7月19日(水)午前10時から
場 所 中部地区公民館
内 容 荒木雄之文化財専門員の講演
「ふるさと温故知新」と茶話会
会 費 300円
申込締切 7月14日(金)
準備の都合上、キャンセルは7月18日(火)まで
連絡してください

7月の百歳体操

6日、13日、20日、27日です

地域の宝再発見

NO.83

藤井松平氏シリーズ3.「松平信将侯」～1. 信将侯の時代

のぶまさ

私には信将侯は印象深い殿様です。信将侯は上山藩にとって苦しい時代を担った殿様でした。時代と信将侯を解きほぐして考えていくことにしましょう。

松平信将侯は、享保二年（1717）信濃上田藩主松平忠昭の四男忠隆の長子として生まれ、幼名を冬松といいました。信濃上田藩松平家は藤井松平宗家信吉の次男忠晴を初代とする分家で、藤井松平宗家の上山藩主存続のために養子として入ることを要請されたのです。

信州上田城は元真田昌幸の居城でしたが、徳川幕藩時代になると仙石氏、藤井松平氏の居城になります。庶流藤井松平信将侯には信濃上田藩主の可能性もありましたが家督相続の綾もあって上山藩主に招請されました。聡明であったと伝えられています。母親は鈴木家の出です（法名は閑心院）。

享保十七年（1732）8月に上山藩主松平長恒侯の養子になると八代将軍吉宗公に拝謁し、師走12日に家督を継ぐ襲封の命（許可）を受け、帝鑑の間にて将軍に拝謁、28日には冠位従五位下、安房守に叙せられました。

その頃の上山藩内にさまざまなことが襲いかかっています。それらが信将侯のエポック（時期・事象）なのですが、長恒侯代より疫病が流行り、享保十八年（1733）夏には「三日疫病という風病諸国一円にはやり老少共に悪寒発熱し頭痛痰咳に気を忘じ三日の間は食湯水共に絶し甚だ煩い四日目より快養に向かった。盆頃には市中の人、寺参りで皆せきに途々あいさつも致しかね、旅人、湯殿山行人など所々にて倒れ死ぬ者あり、旅籠屋も皆煩い、重ねて山形藩主堀田侯が入部の上山泊りで常の旅人泊まることなく筵にくるまって小屋、又は野宿して行った」と書かれています。一つには三日病が諸国に大流行したこと、第二にそれでも湯殿山参詣者（道者、行者）が大いに流行り賑わったこと、山形藩に7月18日に福島藩から堀田正虎侯が父に次いで二度目の入部、上山宿に泊ったことが記録されています。隊列は上下千人で、上山宿はごった返したことでしょう。

ところで、山形藩堀田侯は享保二十年（1735）

5月23日に参勤交代で江戸に上ったのですが、その娘御が疱瘡で煩ったと記録されています。おりしも上山藩お国家老松平数馬殿も同じ疱瘡で重病になり、12月15日22歳で亡くなってしまいました。有為な若者だったので藩内中のものが嘆き悲しんだとあります。

さて当時の藤井松平家の家臣団はどれほどだったのでしょうか。信通侯の入部時は家臣団を整理縮小して121人、信将侯代の宝暦年中は115人でした。家老2、用人6、寄合1、側用人（近習）5、医師5、持筒頭1、先筒頭4、長柄奉行3、町・郡・勘定奉行6、徒頭3、宗旨奉行2、惣詰50、馬廻25、惣領13、徒16人などでした。これらが3万石の上山藩の家臣団構成で、更に加えて藩主から家臣に軍事上の「軍役御定」があり、禄高に応じて100石、又は20人扶持に付き中間2人などと引き連れ共人が定められていました。細かには今後述べていきますが、正規家臣は案外少なく、また細かな定めがあって厳しく質素を求められていました。

当時の世情は、この頃（1734）3月21日が弘法大師九百年忌で高野山に日本中から参詣者が多く、また上方筋のご本尊が江戸にて出開帳、湯殿山注連寺大日如来の開帳で参詣人も宿場にあふれたと記された後に、藩内の金沢村の観音堂（1742）、原口村薬師堂（1744）、また同年遊行上人が山形光明寺巡錫（逗留）、金谷村観音堂の建立・入仏（1747）も綴られて人々の地域的なきずなや宗教的な心情の高まりのことも記されています。

松平信将侯の時代はこのような状況で始まりました。



藤井松平九代・上山三代信将侯の花押

※参考文献：「上山市史」、「藤井御殿記」①、「上山三家見聞日記」⑪などを参照しました。一部年代が合わない箇所がありますが調整しました。